用語解説 **自治体ポイントシステム**：マイナンバーカードの「マイキー」と呼ばれる部分を活用し、公共施設などの様々な利用者カードを一枚にするとともに、クレジットカードなどのポイントや航空マイレージを、地域の特産品の購入等に使うことが可能な「自治体ポイント」に変換し市民が行政活動に参加するたびにポイントがつくシステム。
**マイキープラットフォーム構想**：住民の公益的活動の支援と地域の消費拡大につなげる取り組み。

## 寺田 洋 議員

### 行政におけるスマートフォンを活用する考えはあるか

動画

**議員** 自治体ポイントシステムを当市に導入してみてはどうか。カードを使うのではなく、スマートフォンで決済するというのが今回の質問である。これからスマートフォンを活用した地域活性化策が有効になってくると思われるが、当市ではどのように考えているか。

**市長公室長** スマートフォンアプリの活用を検討する予定であり、アプリの構築にあたっては、ポイントサービスとの連携も視野に入れながら進めていきたいと考えている。

**議員** 総務省管轄のマイキープラットフォーム構想及び自治体ポイントサービスの導入を計画しているか。

**市長公室長** 今年度、庁内でワーキンググループを組織し、自治体ポイント制度の調査、研究、検討をスタートした。さらに、今年2月にはマイキープラットフォーム運用協議会に加盟した。

**答 実施に向け、活用を検討予定**

**議員** 当市独自の自治体ポイントシステムを構築し、市民生活の向上を目指すほうが、今は得策ではないかと思っている。自治体ポイントシステムの導入をスピード感を持って実施できるよう検討してほしい。

**市長** 自治体ポイント、またマイキープラットフォームは、今年度から研究をスタートした。これは、遅かれ早かれ5年以内には全国の自治体での事例になると思う。だから、いかに早く取り組むかが重要である。2020年度には実施に向けて、情報化計画の中に盛り込ませた。

**議員** このような新しい政策は、県内一番を目指し、スピード感を持って検討していただきたいと切に願う。

一般質問 JOSOSHIGIKAIDAYORIJOSOSHIGIKAIDAYORIJOSOSHIGIKAIDAYORI 一般質問

## 坂野 茂実 議員

### 選挙の投票率を上げる策について

動画

**議員** 投票区面積の上位と下位、広い順、小さい順を尋ねる。

**総務部長** 広い順に7・40㎢、7・36㎢である。小さい方は、0・46㎢、0.5㎢である。

**議員** 比較をすると、16倍と大変大きな差がある。投票所まで2～3㎞も離れている地区もあると聞く。高齢者にどれだけ不便を強いているか、投票に行きたくても行く術がないという方たちもいるがどのように考えるか。

**総務部長** 有権者が置かれた環境によって参政権の行使が妨げられることのないよう、投票しやすい環境づくりを工夫していきたい。

**議員** 投票所を有権者千人程度で統合したそうだが、中には2千人以上のところもある。まず住民の声を聞くことが、行政の第一歩だと考えるが、見直し等の考えはあるか。

**答 投票しやすい環境づくりを工夫していきたい**

**総務部長** 不便をおかけしていると認識しており、有権者の皆様からのご要望に真摯に耳を傾けていく。

**議員** 川西地区の大規模小売店に新たに2カ所期日前投票所が設置されており、買い物ついでに、入場券や印鑑がなくても気軽に投票ができるのは大変便利であり、実施済みの自治体でも好評のようで、投票率の向上が期待できると考える。新たに設置した期日前投票所は、今後も継続していくのか。

**総務部長** 今後も続けていく予定である。

**議員** さらに、高齢者の利便性をあげるためにデマンドタクシーを投票日に利用できないか。

**総務部長** 投票日となる日曜日の利用は現状ではできないが、平日にデマンドタクシーを利用して、期日前投票所を利用して投票することは可能である。

用語解説 **投票区**：公職選挙法17条で、原則的に市の区域に分けられるが、必要がある場合は区域を分けて数投票区とすることができる。また、投票区にはひとつの投票所が設けられる。